

中学校

手紙の書き方
体験授業

双方向同期型



夏のお便りの書き方 指導書



ぽすくま

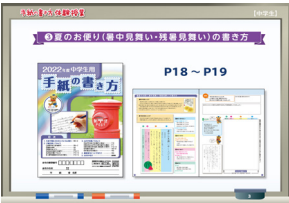
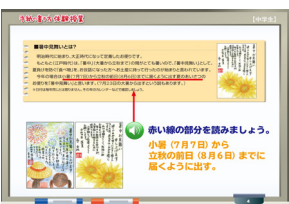
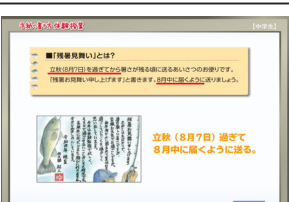
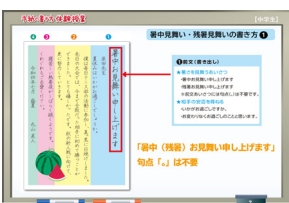
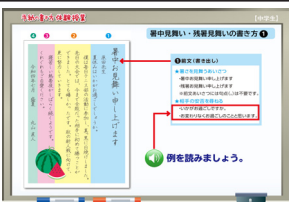


©JAPAN POST Co., Ltd.
※ぽすくまは日本郵便のキャラクターです。

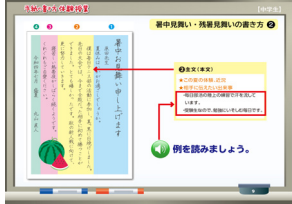
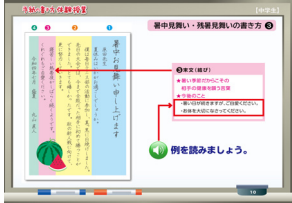
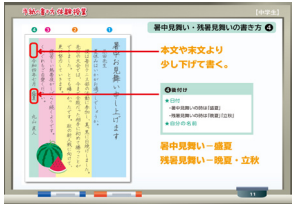
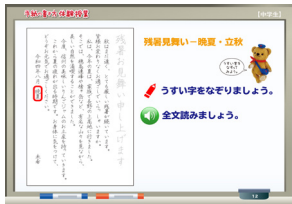
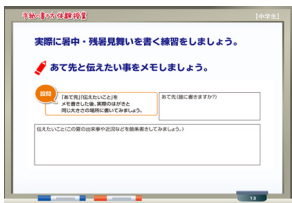
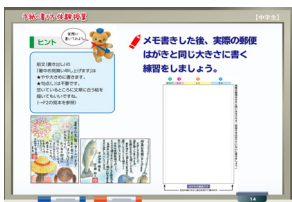
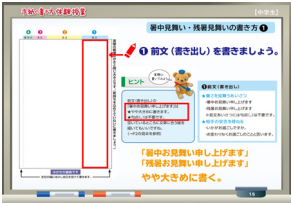
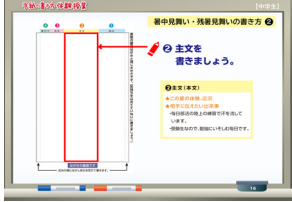
- | | |
|---------|--|
| 1. 対象学年 | 中学校 1～3年 |
| 2. 配当時間 | 1～2時間（1～3時間でもよい） |
| 3. ねらい | ①暑中見舞い、残暑見舞いの手紙の書き方を知る。
②実際にはがきを書く。 |

手紙の書き方体験授業

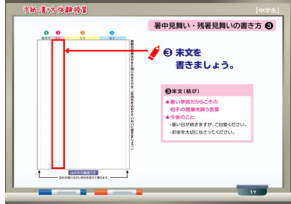
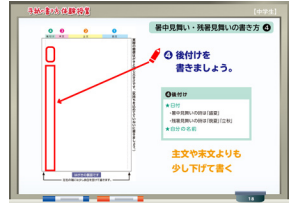
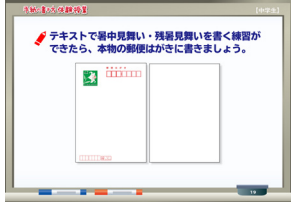
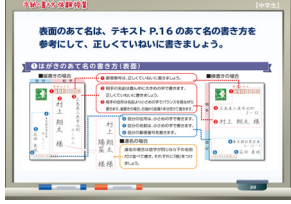
※オレンジ文字は双方向同期型の留意点です。

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
開始前	今日はこの「手紙の書き方」のテキストを使って、夏のお便りの書き方を学習します。 テキスト、はがき、筆記用具を出しましょう。	Google Meet や Zoom で生徒がミーティングに参加していることを確認する。 教師がテキストの表紙、はがき、筆記用具を見せる。	
0~1	テキスト2ページの下に夏のお便りが紹介されています。参考にしましょう。		
	18ページ、19ページ 「夏のお便りの書き方」を開きましょう。 夏のお便りには、暑中見舞いと残暑見舞いがあります。	教師がどの部分か示す。 生徒が開けているかどうかを確認する。	
1~2	「暑中見舞いとは」のところを見ましょう。 暑中見舞いは、夏負けを防ぐ「食べ物」を（お世話になった方へ）お土産に持って行ったのがはじまりと言われています。 赤い線のところを読みましょう。 暑中見舞いは、小暑（7月7日）から立秋の前日（8月6日）までに届くように出します。 日付は毎年同じとは限りません。 残暑見舞いは、立秋（8月7日）を過ぎて、8月中に届くように送ります。 このように、暑中見舞い、残暑見舞いは送る時期に気を付けましょう。	ミュートになっていないかを確認する。	
			
2~3	暑中見舞い、残暑見舞いの書き方について学習していきます。 どちらの文も、4つの部分に分かれます。		
3~4	①の青の部分は、前文（書き出し）です。 前文には、暑さを見舞うあいさつと相手の安否をたずねる文を書きます。 「暑中お見舞い申し上げます」「残暑お見舞い申し上げます」の前文のあいさつには、句点「。」はつけません。 前文の「相手の安否を尋ねる文の例を読みましょう。」		
	・いかがお過ごしですか。 ・お変わりなくお過ごしのことと思います。	ミュートになっていないかを確認する。	

手紙の書き方体験授業

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
4~6	②は主文（本文）です。 この夏の体験や近況、相手に伝えたい出来事などを書きます。 例を読みましょう。 ・毎日部活の陸上の練習で汗を流しています。 ・受験生なので、勉強にいそむ毎日です。	ミュートになっていないかを確認する。	
	③は末文（結び）です。相手の健康を願う言葉や今後のことを書きます。 例を読みましょう。 ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。 ・お体を大切になさってください。	ミュートになっていないかを確認する。	
	④は後付けです。日付、暑中見舞いの時は、「盛夏」残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」と書き、自分の名前も書きます。 主文や末文より少し下げて書くのがマナーです。		
6~7	19ページの左下の残暑見舞いのお便りを見てみましょう。 残暑見舞いの後付けは「晩夏」や「立秋」でしたね。 「残暑お見舞い申し上げます」の薄い字をなぞりましょう。 なぞったら、全文読んでみましょう。	画面を確認する。 ミュートになっていないかを確認する。	
7~10	では、実際に暑中見舞いや残暑見舞いを書く練習をしましょう。暑中見舞い、残暑見舞いのどちらを書きますか？送る時期が違いましたね。 19ページの設問「あて先」「伝えたいこと」をメモ書きしましょう。 あて先（誰に書きますか？） 伝えたいこと（この夏の出来事や近況などを箇条書きにしてみましょう）	どちらにするか決めさせ、挙手させる。 2~3人指示して意見を聞く。	
10~15	メモが書けたら、ヒントを参考に実際の郵便はがきと同じ大きさで書く練習をしましょう。 19ページの右下のところです。		
	①前文（書き出し）の部分を書きましょう。 「暑中お見舞い申し上げます」 「残暑お見舞い申し上げます」はやや大きめに書きます。 では書きましょう。	教師がどの部分が示す。 画面で確認する。	
	②は主文（本文）です。 この夏の体験や近況、相手に伝えたい出来事などを書きます。 では書きましょう。	教師がどの部分が示す。 画面で確認する。	

手紙の書き方体験授業

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
10~15 の 続き	③は末文（結び）です。相手の健康を願う言葉や今後のことを書きます。 では書きましょう。	教師がどの部分か示す。 画面で確認する。	
	④は後付けです。日付と自分の名前を書きます。 暑中見舞いの時は、「盛夏」 残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」と書くのでしたね。 主文や末文より少し下げて書きます。 では書きましょう。	教師がどの部分か示す。 画面で確認する。	
15~23	テキストで暑中見舞いや残暑見舞いを書く練習ができましたね。 次は、実際に郵便はがきにていねいに書いてみましょう。		
	はがきのあて名は、テキスト16ページのあて名の書き方を参考にして、正しく丁寧に書きましょう。	教師がどの部分か示す。	
23~25	暑中見舞い、残暑見舞いが書けたら、ポストに入れましょう。	生徒が最後まで学習できたか、画面上で確認する。	